昭和の町並み見て

なみおか懐古展 写真や資料など紹介

青森公立大学の学生が企画した「なみおか懐古展」が28、29の2日間の日程で、青森市浪岡交流センターあぴねすで開かれており、昭和の浪岡地区が分かる写真や資料などが紹介されている。

かつての写真や資料を通じて地域住民と交流の場をつくろうと、足達健夫准教授ゼミ生の藤沢季莉乃さん、氏家瑞姫さん（4年）、山本響太さん、脇谷勇亮さん（3年）が企画。主に旧浪岡町時代の広報なみおかに掲載されていた1950～70年代の行事や建物の写真を紹介するとともに、現在の風景も撮影して比較できるようにしている。このほか、小中学校の統廃合など公共施設の変遷を地図で示した。

来場者は写真を眺めながら「懐かしい」と声を上げ、学生らに当時の様子を伝えるなどしていた。藤沢さんは「昔を懐かしんで一緒に話すことができてうれしい。写真だけでなく地域住民の思い出も貴重な資料だと思った。若い人もぜひ見てほしい」と話した。

最終日は午前10時から午後6時まで。

（松田基継）

浪岡地区の懐かしい写真などが紹介されているなみおか懐古展